

大正区・西区・港区、大阪西部エリアへ健康と笑顔をお届けられるように。

Lifes

Deeptown MAGAZINE

no. 3

大正百景
谷口仁則

大阪西部景察
吉村智樹

大正区・西区・港区の癒しスポット教えます。

「ここに住んで」

今さら聞けないお薬の話
お薬手帳って？

TAKE FREE

大正百景

谷口仁則
映画監督・テレビディレクター

地元、大正区に戻るとふと鼻の奥に
甦るのがホルモンの匂いだ。

て多いに影響されている。

町中に突如現れるホルモン屋の匂い。
軒先に大きな鉄板が置かれ、串に刺さ
れたホルモンが焼かれており、それを
人々が囲み、串とビールを片手に談笑
している。メニューはホルモンとキモの
2種類のみ。今でもレバーよりキモの
方がしっくりくる。小学生の頃、この串
はオヤツだった。当時1本40円だったと
いうこともありホルモン屋は大人の社
交場はもちろんだが、子どもたちのた
まり場でもあった。今思えば大人たち
に混じって「ホルモンちょうだい」「俺キモ
食いたい」などと子どもたちが店に集
まる様は大正ならではの光景だと思う。

ある時、当時小学生だった僕はホル
モンを焼く店主に「おっちゃんの一生つ
てこの鉄板の前だけで終わるん？」と、
今思えばとても失礼な事を聞いた。
が、おっちゃんは「そやで、それでえ
えねんや」と笑いながら返してくれ
た。その時は特に何も思わなかったけ
れど、なぜか今でも鮮明に覚えていて
改めて思い返すと言葉の深さみたいな
ものが身にしまっている…。

今でも大正にあるホルモンの店では
おっちゃんやおばちゃんの店主が慣れ
た手つきで串を焼き、最後に秘伝の
タレをドバツとかけて仕上げる。その匂
いはまさに旨味そのものを擁し、たま
らなく食欲をそそる。それが大正の町
中に広がり芳香剤となって独特の空気
を放っている。久しぶりにホルモン食べ
たくなった。



profile 谷口仁則

映像集団「Walk On」代表。「兵動大樹のおしゃべり大好き」「モモコのOH!ソレ!み〜よ」などのイベント、番組を演出、監督している。「が〜まるちょば新喜劇」「踊る新喜劇」などイベント新喜劇の演出をし、故郷、大正区を舞台にした映画『よしもと新喜劇映画 商店街戦争 SUCHICO』脚本・監督を担当した。

大阪西部景察



はじめは「わかめ販売」と「セルフサービスの店」が頭のなかでつながらず、ワケわかめ状態におちいってしまいました。「わかめ好き好き」な故・石立鉄男さんに教えてあげたかった。



土佐堀通りは中小のデザイン事務所が集まるエリアでもあります。だからでしょうか。「野良猫の餌付け禁止」を訴えているのに、こんなにかわいいと反対に餌をあげたくなりますにや。



土佐堀通りは広告代理店も多く集まっており、街にはコピーライターが行き交っています。だから言うことがいちいちしゃれてはる。これがもし「福澤セット」だったら値段的にといてしまえますが……。

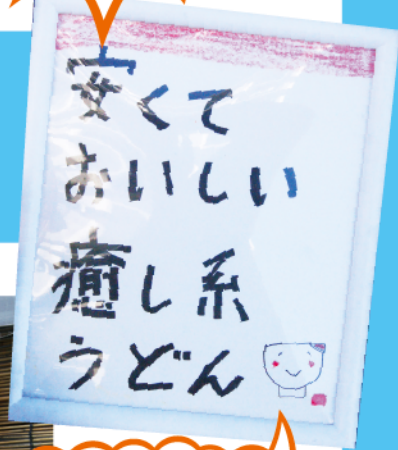
アップダウンが激しい土佐堀通り。階段があるとも知らずに自転車で降りようとしたらたいへんです。だからなのか、「注意」と書かれた奇怪なオブジェが、これ自体にぶつかるめよう要注意。

土佐堀通り



飼い主さんに告げる忘れ物と言えば、あれです。ンコ。そういえば以前、土佐堀川のほとりに「犬を入れないで」という立て札があり、オフコースの「愛を止めないで」を思い出しました。

古い歴史をいだけ街ゆえ、林立するビルのおき間に仙傳が立つ光景も。しかもかわいい毛糸の帽子をかぶっています。船場だけに、米俵を背負った仏さまが、かぶせた人の枕元に並ぶかも。



癒し系うどん……石田ゆり子さんがふーふーしてくれるうどんでしょうか。無理なら妹のひかりさんでもかまわないのですが、僕は「いやしい系」なので、うどん玉ダブルでお願いしたい。

大阪西部エリアの最北端、船場のビジネス街をつらぬく「土佐堀(とさぼり)通り」。

「土佐堀通り」とは大阪市西区の昭和橋西詰交差点をはじめとした全長およそ4・7キロメートルの主要道路のこと。その名の通り、土佐堀川に沿うように走ります。この頃は「高級ホテル」「リーガ中之島イン」がある通り」として知られていますが、地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅を降りてすぐ、まるで「つくし」のように愛らしくファンタジックな形状をした「大同生命保険(株本社ビル)」も建築ファンのあいだでは有名ですね。夜になるとビルはこうこうとライトアップされ、「つくしのスター」が誕生したかのように輝いています。

ここは両替商「加島屋」の跡地。大同生命は、炭鉱、金融、日本初の女子大学、現日本女子大設立、そして最後に保険事業に携わった事業家の広岡浅子をルーツとする会社です。

2015年にはNHKの朝の連続テレビ小説「あさが来た」の舞台にもなり、高視聴率を記録しました。生命保険を採りあげたドラマがあり、それを多くの人々が熱心に観ていたという事実が興味深い。そういえば2015年の漢字は「安」。「社会や生活に対する不安の増大により安心を求めたことから一年を象徴する漢字」という理由で選ばれましたね。

あれから3年、大阪から不安は取り除かれたでしょうか？ 土佐堀川から吹く春のからっ風に吹かれながら、静かに顧みるのもいいかもしれません。

大阪ディクショナリー

大阪の矢張りて欲しくない言葉、場所、人物、事柄などをゆるく紹介。

text & Illustration / 仲谷暢之

ア行

【あらへんがな】あらへんがな

目的のものがなく。

「アレどこやってん、あらへんがな」と父がよく言っていた。アレとは自分専用の孫の手のことだ。基本、その孫の手は父しか使わないので、とどのつまりは自分がどこかに置き忘れてるのを誰かのせいに自分への苛立ちを緩和したいんだらうなど。

結局、孫の手はソファクッションの間や、読んだ新聞の間に挟まれていた。見つからないと「あらへんがな、どこやるねんな」とぶつぶつ言いながら背中を柱に擦り付けていた。数年前、映画「ジャングル・ブック」を見ていた時にクマが父と同じように木に背中を擦り付けているシーンがあつて笑ってしまった。



【いんで】いんで

帰ってくださいをフランクに言った様。

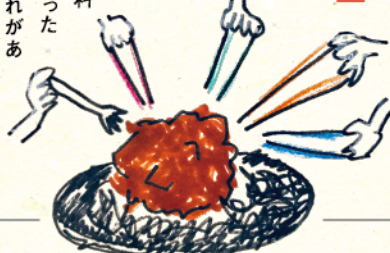
一時、モーニングを食べによく通っていた喫茶店があった。店内は近所の老人たちが集う憩いの場だった。通って行くうちに「常連たちの人間関係が見えてくるわけで、それをなんとなく窺い知るのが面白かった。月曜になると週末の競馬の結果を反省会しているおちゃんグループがいて、いつも「もう、いんでや」「もう、い

いな」「いね」と言われてるおっちゃんがいた。「そんなこと言いないな、今週は大丈夫やから」と笑いながら言うてはった。どうやら毎週、競馬の予想がハズれて、モーニングを毎回グループの誰かに奢ってもらおうとしてたようだ。とはいえ「いんで」とか言うてた他のおっちゃんらは結局、払っていた。

【遠慮のかたまり】えんりよのかたまり

食べ物など、最後に残ったひとつのこと。

SNS上でも話題になっていたけれど、自身も全国で普通に使われていると思っていた。シェアする料理の時、大阪人でも二つ残ったりする。東京などではそれがあ



る意味、謙虚さ、美徳なスタンスなんやろうけど、きつと内心では食べたい！と思ってるのは誰もが思うところ。それを「遠慮のかたまり」と言う表現は秀逸やなと思う。「遠慮のかたまり、誰か食べよし」「遠慮のかたまり呼ばれるぞ」と言うことによつて食を囲む空気がなんだか円滑になるような気がする。

カ行

【串カツ】くしかつ

牛肉などを練り粉とパン粉につけて油で揚げ、ソースで食べる庶民的な食べ物。牛肉などを練り粉とパン粉につけて油で揚げ、ソースで食べる庶民的な食べ物。牛肉などを練り粉とパン粉につけて油で揚

げ、ソースで食べる庶民的な食べ物。昔、串カツは、おおつばらに食べるものではなかった。特に新境界界隈では、何の肉使ってるかわからんから。と言われてたり、揚げ油もいつのかわからへんから食べたら胸焼けするから、そんな子供供の食べるもんやないとも言われていた。普段食べるとすれば、惣菜感の強い串フライとかだった。そんな都市伝説漂う地下フードが、今では大阪を代表するB級グルメとなり、ハレの食べ物として持て囃されているのはつくづく時代やなあとしみじみ。とはいえ、串カツはおっさんが一番似合う食べ物やと思う。



【こまい】こまい

小さい、細かい様。

100円単位のお店などでおれと出すと「なんや、こまいのないんかいな」と言われたものだった。それを言われるとなぜか罪悪感が湧いたものだった。それで「ちよつとどつかでこまかしてきましょか」と言うてしまうことが多々あった。あれはどのような感覚やったんやろか。

サ行

【さいぜん】さいぜん

先ほどの意。

漢字では最前と書くみたい。字は言葉を表している。「さいぜん言うたがな」「さいぜん渡したばかりやろ」とちよつと呆れた感じに使うことが多いです。

【しーてんてん】しーてんてん

小さい子におしっこを促す時に口ずさむ言葉。

中国人の子どもが上海のディズニーランドで

立ちションをしていてけしからんみたいなコメントとともにネットで流されていた映像を見たときに昔は日本もそうやったやんと思いがらこの言葉を思い出した。中国語でもあるのかなあ。

【しゅんでる】しゅんでる

食べ物の味がしみてる様。

母親が居酒屋をやっていたとき、おでんを出していた。お客さんが注文したときに母親は「浅いの？しゅんでるの？」と選択肢を与えていた。女性に浅め、男性はしゅんでるのを選んでるのが多かった。僕も厚揚げやちくわ、大根のしゅんでるのをご飯に乗せてグジャグジャにしかきこむのが今でも好き。行儀悪いけど。

タ行

【ていつー】ていつー

子どもにちよつと怒る時に使う威嚇言葉。

元々はてんごしな(暴れるな、悪さするな)や黙って、大人しくしてをおっちゃんやおばちゃんに端的に言う「ていつー」となるようだ。バタバタと走り回つてる子どもたちに突然大声で「ていつー！」は効果絶大だった。そんな「ていつー」を30代後半以上の関西人に広く浸透させたのはミヤ蝶美・蝶子という女性漫才コンビだ。ドカベン香川似のミヤ蝶美が持ちギャグとして漫才の中で頻繁に使用していた。一時は活動を休止していたけれど、ここ数年復活して今も「ていつー！」って言うてはる。

【道具屋筋】どうぐやすじ

千日前道具屋筋商店街のこと。

なんばグラント花月すぐのところ。道、という文字がどーんと掲げられるファサードが目印。料理・調理に関するあらゆるものがここに集約されている。まい道くんという丁稚

のような子がキャラクターになっている。実際歩いてみると、それほど広くもない道幅、長くないアーケードに様々な店が密集、さらに「どろん道具屋筋い」どろん道具屋筋い」というテーマソングがリフレインされているので、つい自分も飲食店やりたいなど暗示にかかりそうになる。先日、友人のカメラマンがこの商店街の店で雪平鍋を買った。5000円以上するなかなかの鍋。一生使うと言った。

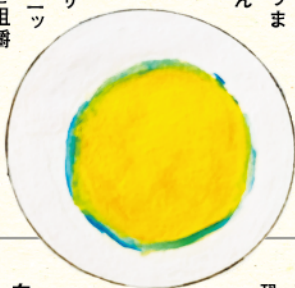


ナ行

【にぬき】にぬき

ゆで卵のこと。

モーニングを楽しみに喫茶店に通っていたとき、トーストと一緒に出てきたのがにぬきだった。今でこそ半熟、温泉卵などバリエーションがあるけれど、昭和の頃は固ゆで一本だった。しかも黄身と白身の間は茹ですぎてブルーになっていた。でもそれが当たり前だと思っていたので誰も文句は言わなかった。そのにぬきの殻をうまくつるんと剥き、てっぺん部分を軽くひとかじり。そのかじった部分に適度に塩をかけ、後はひと口でパクリとするのが好きだった。バサバサの黄身の部分とニッちやりした白身の部分を咀嚼するにつれ喉が詰まりそうになるのも、にぬきを食べている実感だった。



ハ行

【バイセン】ばいせん

先輩のこと。

朝の連続テレビ小説「わろてんか」で寺ギンを演じていた矢野 兵動の、兵藤大樹の相方、矢野勝也が「バイセンやで」と頻繁に使っている言葉。本人は出身である尼崎市周辺でよく使われていたと言っていたけど、実際はそれほど使われておらず、矢野自身が普及に努めている。なんでも言葉を逆さにしていた放送業界での用語的でもある。

【びんぴ】bina

下痢のこと。

市川崑監督、山崎豊子原作の映画「ぼんち」の中で「朝からだくだくだりですね」と腹を抑えながら、主人公の息子が言うてたけれど、妙に生々しい、それに下痢という響きも耳に引っかかる。そういう意味ではびびびという言葉は幼児言葉ではあるけれど何かフェアリーな感じがして大人が言っても可愛く思えるのだけど。蛇足やけどアストリック・リンドグリーン原作の童話「長くつ下のピッピ」を見かけるとつい、下痢が頭に浮かんでしまう。刷り込みというののは恐ろしい。

【豚まん】ぶたまん



昔肉まんとも言われる、豚ミンチに玉ねぎなどを混ぜた餡を白い皮で包み蒸しあげた豚饅頭。大阪は「551 蓬莱の豚まん」である。「二見の豚まん」もあるけれどそこはネームバリュー



で「551」の勝ちだ。「豚まんがある時」、ない時「で雰囲気が出る、悪くなる、悪くなる」という分かれ易すぎるCM。だから手みやげなどハレの日のものと位置付けられている。実際、豚まんがむつしり詰まった赤い箱を渡されるとテンションは上がる。けど、電車の中で食べられてたり、匂いが充満してたり、一人暮らしで晩御飯としてというシチュエーションになると若干、ないときより空気になる。

マ行

【まんまんちゃんあん】まんまんちゃんあん

神様や仏様に拜む際に子どもに促す言葉。小さい頃、祖父母の家に行くと、まず祖母は「手洗して、口うがいで、まんまんちゃんあんしなさい」と言った。それは自分が高校生になつてからも言われ続けていた。「まんまんちゃんあん」の「まんまんちゃん」とは、南無阿弥陀仏の関西弁幼児語。「あん」はあな尊しの幼児語でさらに合掌の動作を指すらしい。そんな意味は知らないけど、仏さんの前では「まんまんちゃんあん」と言うときば間違いないと頭に刷り込まれていた。いまだに「南無阿弥陀仏」と唱えるよりも「まんまんちゃん」と言うとき童心に戻った感じがしてホッとする。

【めばち】めばち

麦粒腫と呼ばれ、まぶたの表面や内側に脂腺の急性可能性炎症のこと。関東ではものもらい、他の地域ではめいぼ、めつば、めこじきなど様々な呼び名があるの

が面白い。大阪ではめばち。目をバチバチしてしまふところから言われたという諸説もあるけれど、小さい頃、めばちになった子を見ると「うわ、お岩さんや」と比喻していたわけ。とはいえ、今はそれこそお岩さんのようなめばちこを患った人を見かけなくなつた。医療が進んだのか、それとも世の中が綺麗になっているからか。だって子供の頃のめばちこの原因で、砂場や犬、猫、チンチンを触った手で目を触ったとなつてしまふと言われてたから。

ラ行

【ラジオ大阪】らじおおさか

正式には大阪放送株式会社と呼ばれるAMラジオの放送局。弁天町のORC2000の中にあるラジオ局で、20代の頃はここが吉本芸人のラジオの構成をやらせてもらっていた。小学生の頃、DJ「こ」をしていた身としては初めてスタジオに入ったときの嬉しさは格別だった。その後、なぜか縁あって自身もラジオ大阪で映画のサントラを流す番組や朝の情報番組のワンコーナを担当させてもらったりしたのはいい思い出。さらに今もインターネットラジオで映画番組をやらせてもらっているのはラジオ大阪のおかげ。だからいまだにラジオは大好き。

ワ行

【わたい】わたい

自分のこと。落語家さんとおばあちゃんが使うとしっくりくるなあ。あたいになるとすれっからしの女性になる。



今さら聞けないお薬のこと。

「お薬手帳って？」

みなさんはお薬手帳を持っていらっしゃいますか。

もらったはいいいけれど、案外引き出しなどに

入れっぱなしにしている方、多いんじゃないでしょうか。

この春から薬に対しての法律も変わり必要不可欠になります。

ということで、改めてお薬手帳について知っておきましょう。



の仕方な
どについ
ての確認
も行って
もらうこ
とができ
ます。

お薬手帳とは、処方された薬の名前や飲む量、回数などの記録（薬歴とも言いいます）を残すための手帳のことを呼んでいます。

この中にこれまでの記録（薬歴）があれば、医師や薬剤師がどのような薬をどのような量を、どんな種類の、どれくらいの期間使っているのかなどがわかります。そしてほかの病院などで薬をもらう場合も、医師や薬剤師にお薬手帳を見せることで、同じ薬が重複していないか、また服用

手帳の中にあなたの
薬の歴史を
見ることができる

東日本大震災が
手帳の重要性を
再認識させてくれた



ではなぜ、これほどお薬手帳が必要とされるようになったのか。その大きな要因は、2011年3月11日に起こった東日本大震災。津波被害などにより、医療機関や薬局、カルテや薬歴などの医療のライフラインが大きく被害を受けたことがきっかけ。

そのような環境の中、お薬手帳があることによって医療や医薬品などの供給がスムーズかつ適切に施される場面が多く見受けられたということで、その重要性、必要性、さらに医療情報の開示によって納得、安心して医

主な電子お薬手帳アプリ

e お薬手帳 <http://www.eokusuri.nichiyaku.or.jp/>

大阪 e- お薬手帳 <http://www.e-okusuritech.co.jp/>

harmo <http://www.harmo.biz/>

お薬手帳+プラス <https://portal.okusuriplus.com/>

おくすり手帳 Link https://www.nttdocomo.co.jp/service/okusuri_link/



療を受けられることへの可能性が有
用だということがわかったからです。

いつ起こるかかわからない
災害時のためにも
持っておく手帳

個人的な病気などもそうですが、
大阪西部エリアでもいつ大きな災害が
起こるかもしれません。起こってから
では遅いということを念頭において、
お薬手帳の携帯しておくことをお勧
めします。

ちなみに手帳に薬局で自分が
購入した薬を記録すること、薬の
名前服用方法など書かれた説明書
をもらった場合は貼り付けておくのも
さらに安心です。

とはいえ、常に携帯しておくこと



徐々に普及してきています。

電子お薬手帳と呼ばれており、ス
マートフォンなどに手帳の情報を取り
込んだり、ICカードなどを用いて
手帳の持っている機能を表示させる
ことができます。

アプリの種類も増え、機能もさま
ざま。家族全員分のお薬情報が見る
ことができたり遠方で暮らしている
家族の情報を確認できるものもあり、
用途に合わせてダウンロードするもの
をお勧めします。

たかがお薬手帳、されどお薬手帳。
あなたの体の安全を守る大切なツール
の一つとして、必ず持つようにしたい
ものです。

もつい、忘れがち。
さらに紛失する
こともあるかも
しれません。そ
のために最近で
は、スマートフォ
ンなど電子媒体
を利用したお薬
手帳アプリも